

## 一般質問

子育て支援としての  
学校給食費の無償化

**問** 給食費の無償化は、子育て施策として全国的に加速している。無償化を実現するためには財源が課題となるが、

昨年度の給食費の保護者負担額の状況は。

**答** 保護者には食材料費のみ負担いただいております。負担額は約3億3,800万円となっています。

**再発言** 給食費の無償化は、子育て支援、少子化対策及び移住・定住にもつながることから、財源を理由とせず、実現に向けた検討を要望する。

公共施設の学習スペース  
としての開放

**問** えるるの自主学习スペー

スが足りないとの声を聞くが、えるる以外で自主学习が可能な公共施設は。

**答** 図書館内に23席ほど、地区公民館ではロビーやフリースペースが活用されている。

**再発言** お金をかけず、今ある公共施設を生かした方法として、図書館3階会議室活用、各地区公民館のロビー等への机や長机の設置、おおむたアリーナ完成後の会議室の活用などにより、勉強したい子供、若者のために学習スペースを確保されるよう要望する。

小中学生が登下校時に背負う  
重たいランドセルやリュック等の  
中身の負担解消を

**問** 猛暑の中、小中学生は、重たい荷物を毎日背負い、手荷物を持って登下校している。通学時間が30分以上かかる子

供もいる。登下校時に背負うランドセルやリュック等の中身は重たすぎるのではないかと。

90%の子供はランドセルが重いと感じているといった調査結果や、ランドセルが重かったり痛かったりしても、子供から言い出しにくい現状があるのではないかと、といった報道もある。子供たちの身体的・精神的な負担が解消されない要因は何か。

**答** 小学校の通学かばんとしては、ランドセルだけでなく、リュック等も認められている。

置き勉も認めるときちんと通知しているが、それでも重いという児童生徒がいれば、個別に丁寧に対応し、各学校にもう一度周知徹底したい。

**再発言** 小中学生が登下校時に背負う重たい荷物については、憂鬱感や肩の痛みなど心身への影響が懸念され、年齢や体重に適した重さにすることは急務ではないかと。適切な調査を実施し、現状を把握したうえで、小中学校の子供たちに寄り添った負担解消策を早急に実施されたい。



## 学校の安全対策について

**問** 水泳授業の民間プールへの事業委託状況は。

**答** 現在、民間プール移行の優先順位を、1番目に橘中学

校、2番目に松原中学校とし、以降は学校再編等の状況を踏まえ、協議を進めている。

**再発言** 安全体制も考慮し、民間プールへの移行をぜひ進めてほしい。

新産業団地の可能性調査  
について

**問** 新産業団地の可能性調査では、臨海部のエリアが適地ということだが、どのような企業誘致が考えられ、どのような期待ができるか。

**答** 工業専用地域でまとまっ

た用地の確保ができ、水道等のインフラ整備が整っていることなどを踏まえ、臨海部のエリアを早期の整備が可能と考えられる土地として選定。

立地業種としては、九州の社会経済情勢や工場立地動向を踏まえ、金属製品や生産用機械器具等の企業誘致や、半導体関連産業の誘致を見込んでいる。

企業誘致を進めることで、雇用創出、税収の確保及び地場企業との取引拡大など、地域経済の活性化につなげたい。